

## 論文審査の結果の要旨

|   |                                 |    |       |
|---|---------------------------------|----|-------|
| 報告番号  | 博(医歯薬)甲第230号                    | 氏名 | 立石 洋平 |
| 学位審査委員  | 主査 江石 清行<br>副査 永田 泉<br>副査 前村 浩二 |    |       |
| 論文審査の結果の要旨  |                                 |    |       |
| <p>1 研究目的の評価<br/>本研究は、一過性脳虚血発作の原因のひとつとして、静脈系の血栓などが心臓内あるいは肺内の右左シャントが原因となっている重要性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価<br/>一過性脳虚血発作患者129名を心臓源性、血栓性および原因不明の3群にわけ、経食道心エコーと経頭蓋ドプラーの検出法を併用し、右左シャントの頻度を3群間で比較検討し、原因不明群での右左シャントの重要性を検討した。</p> <p>3 解析・考察の評価<br/>上記手法で解析した結果、原因不明群で他の2群より右左シャント保有率が有意に高く、一過性脳虚血発作の原因として右左シャントの重要性が確認された。脳虚血あるいは脳梗塞の原因として、静脈系血栓に右左シャントが合併したときの危険が改めて示唆され、その予防医学への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は脳虚血予防への研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p> |                                 |    |       |